

残心

題字 残心 揮毫 上浮穴教育会OB 竹井 史一 解説は3面



発行所
公益財団法人愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスボワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

謹賀新年
(公財)愛媛県教育会
理事長 一色 光
役員 一同

年頭にあたって 創立五十周年 節目の年に



公益財団法人愛媛県教育会
理事長 一色 光

明けまして
おめでとうございます
皆様におかれましては、良
い年をお迎えのこととお喜び
申し上げます。

今年(丙申)は、草木が伸びきり、
果実が成熟して硬くなつてい
く状態を表すそうです。そん
な年に、愛媛県教育会は、創
立五十周年を迎えます。人な
ら「知命」、論語でいう五十
にして天命を知る年です。
この節目の年を迎え、改め
て諸先輩の御労苦を偲ぶと
もに過去を省み、現在を思い、
さらに明日への夢を描きなが
ら目標を明確にして進まな
ければならないと決意してい
るところです。

本会は、創立発会での宣言
文のひとつに「日本教育の現
状にかんがみ堅実なる国民教
育の推進確立を期し、ここに
愛媛県教育会を設立する」と
あるように、これまで一貫し
て本県教育の推進、発展に尽
力してまいりました。

さらに平成二十五年には
「公益財団法人」となり、互助
互恵、助け合いの精神を持っ
た温かみと潤いのある社会へ
の変革を目指すとともに、新
しい時代にふさわしい教育の
目的・理念の高揚に努め、よ
り一層の社会貢献が図れるよ
うに努めているところです。
本会は、これらの基本理念
に基づき、文教会館を拠点に
教育支援事業、会員福利厚生

事業、教育振興のための編集
出版事業などの諸事業を実施
しております。
しかし、少子化に伴う会員
数の減少や会館の老朽化、公
益法人としての財務処理など
様々な課題も抱えております。
今後は、組織体制の整備や
経営の健全化、財務処理の適
正化に努め、これまで同様に
地区教育会との連携を図ると
ともに、行政、関係機関、団
体と一層連携・協働して事業
を実施してまいりたいと思え
ています。

また、現職・退職・賛助会
員が一体となって愛媛教育一
家としての存在を示し、次代
を担う子どもたちが健やかに
成長するよう社会総がかりで
取り組む教育を推進する中核
としての役割を果たしてい
きたいものです。
会員はじめ各種関係団体、
県民各位の御支援、御協力を
よろしくお願い申し上げます。



(石井南放先生・画)
OB 松岡紀雄氏提供

聞 響

「学而時習之、亦
不説乎」いうまでも
なく論語の学而編の
有名な一節である。
二千年以上も前の言
葉であるが、学習の

本質をついた言葉であると思
う▼「勉強」という言葉につ
いても「勉める」「強いる」
と読み替えてみると、本質が
見えてくるような気がする。
勉強とは、強いて勉めるもの
であり、決して楽なことでは
ない。人間は本来、楽な方へ
流されてしまう性向を持つて
いる。だから、自らに強いる
のである。自分が自分に強い
る。そして、一生懸命に勉め
る。そのようにして成果を上
げ得たとき、勉強が楽ではな
いが、楽しく感じるのだと思
う▼学習は楽しくなくてはな
らないといわれる。しかし、
その楽しさは、利那的・表層
的な楽しさであってはならな
い。孔子の言うように、学習
本来の意味のような学びの楽
しさを求めることにある▼当
然、教育の実践者である教員
は、表面的に楽な楽しさを排
除し、学習本来の楽しさを求
めさせるよう学習活動を組織
し、よりよい授業が展開でき
ることが求められている。研
究と修養が課せられている
所以である。

ひとこと

高校との交流



愛媛県教育研究協議会 副会長 安藤 宏幸

生に興味津々であった。また、高校生の方は、「教える」ことのよさを体感してくれているようであった。

本校から歩いて五分の所に県立丹原高校がある。本年度から高校の園芸科と交流を始めた。こんなに近くに高校があるのに、何かできればと思っていた。校長先生にお話をもつていくと、快諾していただき実現することになった。

本年度はできるところからということになり、二年生が野菜作りを園芸科とすることになった。生活科の学習で、夏野菜を作るところから始まった。高校生が実習の時間に来てくれて、野菜づくりをいねいに教えてくれた。子どもたちは、いろいろ質問をしては「そうなん。へえー。」と感嘆の言葉。交流してみてもよかった。子どもたちは高校

五年生は、総合的な学習の時間に、地域のお菓子屋さんとかラボして、お菓子づくりに挑戦。といつても、自分たちが考えたアイディアをお菓子屋さんでプレゼンするものである。これも園芸科とコラボすることになった。高校生に地域の農業や産物についてプレゼンしてもらった。

「自分の家は、きゅうり栽培をしているので、自分もするつもりである。」と明言してくれた。頼もしい限りだ。こんな気持ちで、五年生にも伝わってほしいと願っている。実習では、自分たちが作ったさつまいもを使って、指導を受けながら高校生と一緒にスイーツづくりも行った。

さて、どんなプレゼンをしてもらえるか楽しみである。本校からもこの科に進学してくる子どもがいるといいのにも思いながら交流を続けていく。

(西条市立丹原小学校長)

学校紹介

No.165

松山市立さくら小学校

さくらの花のように

松山市立さくら小学校は、市の西部にあります。児童数の増加に伴い、松山市で四十一番目の学校として平成元年に新設されました。

校名の「さくら」は、古来から日本を代表する花木「さくら」にちなみ、さくらの花のように明るく咲き、栄えることを望んで付けられました。大学のキャンパスを思わせる煉瓦色の斬新な校舎、学級の境を取り除き、広い廊下を設けたオープンスペースが特徴的な美しい学校です。

正門を入ると、通路の両側に陽光桜が植えられています。通称、「さくら通り」。子どもたちの大好きな場所として親しまれており、卒業式の頃に濃いピンクの花を咲かせて旅立ちを見送ります。

通りには「心」と刻まれた石碑が建っています。これは、豊かな心、思いやりの心、耐える心を養い、力の限り伸び

てゆくことを念じて贈られたものです。校訓を「明るくやさしいさくらの子」「すくすく伸びるさくらの子」「やる気とねばりのさくらの子」とし、心の教育を基盤に「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成を図っています。

また、開校以来、オープンスペースを活用し、学級の枠を超えたダイナミックな学習活動を展開し、国際交流や外国語活動にも力を入れて取り組んできました。

サクラメント松山姉妹都市協会の皆様の協力をいただき、平成十三年から、インターネットでサクラメント市との交流を開始しました。平成十五年にはアメリカ合衆国サクラメント市「マツヤマ小学校」と姉妹校の関係を結んでいます。

インターネット回線を利用した交流には、主に五年生と六年生が参加しています。学



校で学んだことや日本の伝統文化、流行している遊びなどを紹介したり一緒に歌を歌ったりし、互いへの理解を深める貴重な場になっています。

昨年は、六年生が、外国語活動の時間に学習した「行ってみたい国」や「将来の夢」、シンデレラの英語劇などを披露しました。マツヤマ小学校からは、以前さくら小学校でも紹介した剣玉の実演がありました。技が決まる度拍手が起こり、心通う楽しいひとときとなりました。

(教頭 森 佐輝子)

題字に寄せて

残心



上浮穴教育会OB 竹井 史一

上浮穴郡は剣道が盛んな土地である。各地域で大会を持ち、児童・生徒の力を伸ばしてきた。学校体育・社会体育ともによき指導者に恵まれていたからである。

今年も、久万高原町で県内の学校やクラブ等の選手が一堂に会して大会が行われた。その時、指導者が言った「残心」と言う言葉が心にひびき、こちよく耳に残った。「お互いの剣が相手に一撃を与えたあと、反撃に備える心の構えである。」という意味だと思ふ。

我々の日常生活にも相通するものがあると思つた次第である。

ふるさとに生きる

地域に生かされて



松本 利夫先生

訪問者

野本 益市
宇都宮 久惠

(八幡浜教育会)

素晴らしい秋晴れの中、ボランティア活動や様々な組織の役員として、地域や市のために尽力されている松本利夫先生をお訪ねしました。

野本 千丈小学校校長として教員生活を終えられました。退職後の様子をお聞かせください。

松本 八西学校生協事務局長、八幡市議会議員、「諏訪崎を愛する会」代表、市陸上競技協会会長などを歴任しました。昨年度からは、地区の老寿会の会長も務めています。

野本 長年、社会体育に携わってこられた経緯をお聞かせください。

松本 大学時代から本格的に陸上に取り組み、長距離を中心に様々な競技会に出場した

No. 84

は、各種団体から多数の参加をいただいています。漂着ゴミは減少傾向にあり、活動に関わっていただくことにより、環境保全に対する意識が、定着しつつあると思います。今後も、内容を工夫しながら継続していきたいと思ひます。

野本 様々な活動をされてきた経験をおして、「地域に生きる」ということを、どのようにお考えですか。

松本 「地域のためにがんばってきた」というよりは、「地域に生かされている」という思いの方が強いです。役を引き受けたら、少しでもより良く楽しい活動になるように、頭と体を動かして取り組んできました。このプラス思



考が、自分自身の心身の健康につながり、結局は「自分は生かされている」という思いにつながりました。これからは、この気持ちを大切にしたい、できる限りのことをしたいものだと思ひています。

宇都宮 お話を伺って、長年多方面にわたって、プラス思考で活動されてきた姿勢が、松本先生の若々しさの秘訣であると感じました。今後ますますご活躍の場が広がることと思ひます。有り難うございました。

松本 利夫先生(80歳)
(八幡浜市川上町在住)

謹賀新年



新しい年が皆さまにとりまして、良い一年でありますように!

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所

〒790-8545 松山市祝谷町 1-5-33 17F 7-17 愛媛文教会館 3F
TEL 089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/

特集 私の夢ー新年への抱負ー

新年の抱負



角野小市論 野村美穂
新居市教諭 倉崎

子どもの頃は学校で、今年

の目標を決めたり書いたりする機会があったが、大人になってからは、新年の抱負をしっかりと掲げることがなくなってしまうような気がする。毎日の仕事や家事、育児に追われ、気が付けば一年が終わり、そして息つく暇もなく新しい年が始まっていく教員生活を送っている。

しかし、今年の四月から下の娘も進学のため家を離れることになり、子育てもひと段落し、これまでとはちよつと違う、少しだけ時間に余裕ができる生活（懐の余裕はなくなるが）がスタートする。そんな今年、目指してみようと思うのは、フットワークを軽く生活するということだ。

一つは、その言葉のまま、体を軽く動かせるように運動すること。まずは近所のウォ

ーキングから。ヘルニア持ちだけど、足腰を鍛え直して、いつもテレビで視ている「百名山」への登山は到底無理でも、ハイキング程度のことではできない体作りをしたい。そして、いつの日にかは富士山に…。（無謀？）

二つ目は、講習会や研究会、演奏会鑑賞などに向いて行くフットワークの軽さをもつこと。仕事に疲れ切ってしまう、出掛けるよりも家でゆっくり過ごすことが多くなってきたことに危機感をもって、新しい刺激を求めていきたい。

何十年かぶりに、今年の抱負を活字にしてみました。どうか今年の終わりに胸を張れますように…。

アルプスを目指して



越智教育会OB 今治 小林 友弘

昭和四十六年に初めて三千メートル級の山、穂高連峰を縦走しました。その後、数回

三千メートル級の山を登っています。機会が少なくなり、疎遠になっていました。

平成二十年、退職してからゆとりもでき、四国の山々を登っています。春や夏の美しい花やさわやかな新緑、秋の紅葉、初冬の霧氷など、四季折々様々な表情で迎えてくれます。特に、山頂からの展望や感動は、疲れも吹っ飛び心の糧となります。

登山を始めると、以前に登っていたアルプスのことを思い出します。国土地理院によれば三千メートル以上の山は、日本に二十一山あるようです。今までに十山登っている、半分以上は登ってやろうという気になりました。

そこで、平成二十四年、北アルプスの燕岳から槍ヶ岳、南岳への縦走をすることにしました。一人での縦走は初めてであり、体力や登山道など不安もありましたが、何とか達成することができました。山頂でのご来光や成感感、心を熱くさせるものがありました。

これで十四山達成です。昨年、南アルプスへの登山計画を立てたものの、直前になって体調を崩し、実行できませんでした。今年こそは、再びアルプス登山に挑戦した

いと思っています。気力と体力がいつまで続くか分りませんが、今では二十一山の征服を目指しています。体力維持のために、四十代から始めたマラソン大会への参加も続けています。

新年の抱負



北条小市論 井上 菜美

私は昨夏、御五神島無人島キャンプ事業に参加しました。この経験は、私の教師生活の大きな転機となりました。

無人島では、過酷な環境の中で日常ではできない経験ができました。また、同年代の先生方と十日間過ごす中で、自分に足りないものに気付かされ、もつと精進する必要性を痛感しました。

来年度は六年研修を受ける年です。一年間かけて研修を深め自分の武器になるもの身に付けたいと考えます。さらに、与えられた仕事を確実にすることはもちろん、その中で自分のアイデアを出し、より良いものにしていきます。北条小学校には、たくさん引き出しをもった

先輩がいるので、多くのことを学びたいと思います。私は、両親の姿を見て教師になりたいと思うようになりました。「井上先生の子ども」と言われることを誇りに思いますし、両親のような教師になりたいです。しかし、この夏の経験をきっかけに、今後は両親の姿を目指すだけでなく、自分にはできないことを見付けていきたいと考えようになりました。まだまだ追いつくことはできませんが、この一年で少しでも近づけるよう、さらに努力します。

愛媛マラソン
2016.2.7開催

参加される教職員の方にTシャツを進呈しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

公益財団法人 **日本教育公務員弘済会愛媛支部**
〒790-8545 愛媛県松山市栢谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

「男の修行」 継続



大洲市大洲東中
教諭 二宮 賢治

恩師の奏でる尺八で人生の節目とも言うべき結婚式を迎えてから、早十か月あまり。新規採用教諭としてお世話になった学校を巣立ち、現在の学校で勤務し始めてからも十か月。これでいいのか、まだやれるのではないかと己を問いただし、生徒に期待し、時間追われるように過ごしてきた。こんな風に人生を歩んでいくのだろうか、慌ただしく過ごしている日々

再確認している。私の好きな詩に山本五十六の「男の修行」がある。「苦しいこともあるだろう。」で始まり「これらを感じるところまでゆくのが、男の修行である。」と終える。私は、この詩の男を人生と置き換えている。私の周りには、先輩、同僚、親、そして、何より生徒という師がいる。まだ修行とよべるほどの人生を歩んでいないのかもしれないけれど、私の周りには多くの師に学び、今年も精進していく所存である。

文教科四五六の「ひとこと」欄に掲載された「霧の摩周湖」のエピソードに心を打たれた。霧で全く見えない摩周湖。ブーイングになりかけた車内でバスガイドは、布施明の名曲を歌い、その場の雰囲気盛り上げ「これが有名な霧の摩周湖か。」と感心させたという。まさに、ピ

祝 受章・受賞おめでとうござります

◆瑞宝双光章(高齢者叙勲)

山本 佳一様

88歳

元八幡浜市立日土小学校校長

八幡浜市

武智 修様

88歳

元双海町立由並小学校校長

砥部町

河野 博徳様

88歳

元保内町立保内中学校校長

八幡浜市

神野 米一様

88歳

元新居浜市立船木小学校校長

新居浜市

◆教育者文部科学大臣表彰

新谷 和志様

59歳

松山市立中島小学校校長

松山市

垂水 勉様

59歳

松前町立岡田中学校校長

松前町

ンチをチャンスに変えた瞬間。私にもそんな危機的状況が訪れることだろう。そんな時こそ良い意味でその状況を味わいたい。それこそ修行。人生の修行。修行にはピンチがつきもの。ピンチはチャンスなのだから。

新年への抱負



小松市岩和
教諭 宮下 友一

をしつかりとしゃべって、巧みに自分の良いように私を動かそうとする。いつの間にか賢くなっている。そんな成長をみるとあつという間に時間が経過しているのを感じる。学校では、先生方の協力と児童の頑張りによって、岩松小学校での体育主任一年目を過ごした。水泳、陸上と子どもたちのすばらしい成長と活躍を見ることができた。しかし、もつと力を出させることができたのではないかと、いう思いもある。

教員生活、早いもので八年目になる。初任者の頃には想像することができなかった今がある。結婚をして、三歳と一歳の二人の娘がいる。さらに、学校では五年生担任と体育主任を任せていただいている。公私共に責任の重さを感じる。と同時に、充実感がある。しかし、毎日がただ慌ただしく過ぎていくことも多い。

子どもたちの一年の変化の大きさは、目を見張るものがある。慌ただしく過ぎて行く中にも、一瞬一瞬に、今しかできないこと、今しかできない指導があると思う。しっかりと計画を立てて、公私ともに後悔のないようにしていきたい。ただ、時間が過ぎていくのではなく、大切な時間を子どもたちと共に成長していかれたらと思う。

訂正

十二月号において、二面学校紹介欄で、筆者の職名「教諭」を「教頭」と誤記したこと、五面受章欄で、「菊地俊樹様」を「菊池俊樹様」と誤記したことをお詫びし、訂正いたします。

冠婚葬祭事業 (株) ベルモニーのご案内 学校生協

愛媛県学校生協は(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。冠婚葬祭のご利用お申し込みの際に学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

(他団体との併用はできません。)

青山・はるやまカード会員 ご入会のおすすめ 学校生協

愛媛県学校生活協同組合連合会では、青山・はるやま、両店舗と提携店契約を結んでおります。

どちらも学校生協組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

第67回日連教富大会記念講演(昨年八月開催)

演題 「ことばという美しき存在証明」

高志の国文学館館長 中西 進氏

報告者



松野町松野中
教頭 圭城
上田

一 はじめに

「ことば」という美しき存在証明」と題して、言葉についてお話をしたい。「最近の言葉は乱れている」ということがよく言われているが、同じことを徒然草の中の記述で見ることが出来る。それ以前の枕草子の中でも同様のことが記されている。このことを言語末世観と私は呼んでいるが、いつの世にも美しい言葉や汚い言葉はあり、言葉は常に変動してやまないものと考えている。ではどういう言葉が美しいと考えさせられるのか、それを考えてみたい。

二 言葉の味わいを深く探る

古代の生き方の中で、男性も女性も押しなべて美しい生き方だと評価した「しなう」という言葉がある。竹のよう

に弾力があるやわらかな生き方が美しいのだと日本人は考えていた。平安時代になると、「しなう」は、「しなやか」とか「しおらしい」とかといった意味で徐々に女性に特化されてきた。「しなう」の根源は「死ぬ」である。「しなう」の「う」は継続を表すので「しなう」は死に続くということなのである。しかし、死なない。そこには竹がしなうように溜められた大きなエネルギーが存在する。「しなう」という言葉のように、味わってみれば美しさが立ち上がってくるような言葉を子どもたちに教えてほしい。

三 言葉の意味をよく理解する

言葉を深く理解する訓練が必要である。例えば、「あきらめる」という言葉がある。「あきらめる」とは「あきららかにする」ということである。どうしたらその状況を打開できるのかということ深く考え続け、明らかにすることが「あきらめる」ということである。考え続け、結果が分かった時最後に放棄すると

いうことになる。現在は放棄することだけが残ってしまっている。この言葉には、簡単にあきらめてはいけないという意味がある。深く言葉の意味を理解することによって、その言葉をどのように使うことができるのかが見えてくる。使う言葉に味わいが多いということはそれを使っている人間の奥行きを示す。言葉に奥行きという味わいがあると同時に、その存在が奥行きを持っていることを示す。それが「存在証明」という意味である。

四 詩の言葉のふしぎ

「雁がねの初声聞きて咲き出たる屋前の秋萩見に来わが背子」(万葉集)

雁の初声を聞いて咲き始めた萩が私の庭にあります、どうか愛しい人よ、見に来てくださいという和歌である。この歌の不思議なことは、萩が空を飛んでいる雁の声を聞いて、というところである。

万葉人は、植物には耳がある、萩に耳がない、なんて思っていない。これは、今でも、植木などを剪定しようと思つて、鋏を持って近付くと、その植物はグッと睨んで収縮するといふ。また、毎日、植物に声を掛けると、元気になって、花が咲くといふ。我々が現代的



講演の様子

な、非常に精緻な自然科学的手続きを経てやっと分かったものを、万葉人はもう直感的に知っていたといふことだ。一見不思議と思われるようなものの中に実は真実があった、それを発見するのが言葉である。そういう真実の存在を証明する、それが美しい言葉である。

五 わたしの好きな言葉

「磯城島の日本の国は言霊のたすくる国ぞま幸くありこそ」(万葉集)

「わたしの言葉の霊力で、あなたは守られています。どうかご無事で」と、遣唐使の無事を祈っている。よく言葉に魂があるといふ。「何故、言葉には魂があるか」といふと、「言(こと)は「事(こと)」で、「言葉」は「事柄」である。例えば、「美しいです」と言えば、皆さんは、

美しいものを想像する。つまり、言葉によって、事柄を作りあげている。この言葉の働きを日本人は言霊と呼んだ。言葉は、目の前に姿も形もないのに、言われてみると、はつきりと形を思い描ける。このように、言葉は事柄や物を実現させる不思議な力を持っている。

六 おわりに

情報さえつかめれば言語として完全だといふ考え方は極めて不完全である。美しいひびきを大切にしたい。言葉は人格のパスポートである。大切にしてほしい。

足跡をつづる。私を記す。形に残す。あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

受賞作品
多数制作

本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします! プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

●規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示 ●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ーその他、ご相談承ります。ー

ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

松山本社/松山市津町7丁目7-1 TEL(089)945-0111
東京支社/東京都中央区本町1丁目2-9 TEL(03)5377-1230
支店/大阪・横浜 営業所/名古屋・高松 http://www.seki.co.jp

ふるさとスケッチ

No.385

国指定遺跡 「永納山古代山城跡」



小瀬河市 慎 青野

永納山城は、西条市の永納山(一三二・四m)と今治市の医王山(一三〇・一m)の尾根に囲まれた東西四七〇m、南北七二〇mのすり鉢状の地形を、総延長二・五kmの城壁(土塁)で囲む形で築城されています。約一三〇〇年前、西暦七世紀の後半、飛鳥時代

に造られた日本最古の山城とされています。現地では、その土塁の基礎になった大きな石の列(列石)や土塁などが発掘・発見されています。本校教職員も毎年永納山に登り、研修を深めています。山頂から見る景観は、すばらしく、子どもたちも六年生も六年生になると「永納山古代山城跡」の学習をして語り継いでいっています。



ご冥福をお祈りします

- 山崎 毅彦様 87歳
永井 満彦様 83歳
弘瀬 光和様 83歳
宮原 完夫様 86歳
河端 皎様 86歳
菊池 利雄様 84歳
中井 貞二様 82歳
大西 幸子様 59歳
小西 雅恵様 90歳
濱崎 勉様 88歳
高橋 久仁様 92歳
河合 三郎様 83歳
高須 賀一様 83歳
水本 勝好様 82歳
首藤 静夫様 86歳
渡部 健一郎様 85歳
正岡 三郎様 85歳
渡邊 辰夫様 90歳

- 宇和島市夏目町一九〇
松山市桑原二丁目三五
松山市祇川二丁目六一五
八幡浜市保内町宮内五三
西条市明屋敷三八三
大洲市新谷町甲三〇
西予市宇和町河内四四
伊予郡松前町昌農内一六一
伊予郡松前町恵久美八八二
宇和島市吉田町沖村甲三〇
松山市北条六三
大洲市常磐町六一
新居浜市萩生二二六二
喜多郡内子町内子三四〇
越智郡上島町岩城三七五
松山市由良町二〇三
今治市桜井五〇一七
西条市大町五一八

- 27
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
27 24 19 19 16 15 15 15 15 14 10 9 9 5 5 4 2 1 1

ローカルトピックス

高茂岬

私も含め旧西海町の住民は「高茂岬」と書いて「こうも」と呼ぶ。以前は整備もあまりされず訪れる人も多くなかった。近年はツールド愛南などと呼ばれる自転車競技の通過点としても利用価値が高まり、トイレ等の整備も行われ昔とは趣を異にしている。ここには戦前、佐伯防備隊高茂衛所が置かれ旧内海村由



良半島西端の由良衛所とともに九州佐伯を結び、米艦船の監視を任務とする施設が置かれていた。

由良衛所と違い高茂岬には往事をしのばせる施設はなくそこにある案内板にその名を残しているに過ぎない。しかし、太平洋から打ち込んでくる荒波に洗われる切り立った断崖をみると、厳しい戦時をくぐり抜けてきた歴史を感じずにはいられない。曲がりくねり高低差のある県道には少々閉口するかもしれないが一度訪れてみる価値はあるかもしれない。

文教月報編集協力委員 中田非斗志 南宇和教育局 O B

第八回「えひめ教育の日」推進大会・フェスティバル (於 八幡浜市)

今年も、十一月一日の「えひめ教育の日」に第八回目の推進大会・フェスティバルが八幡浜市文化会館(ゆめみかん)を会場として、盛大に開催されました。今回は、昨年の東予会場からのバトンを受けて南予地区での実施となり、八幡浜の温かい雰囲気の中で執り行われました。

四五〇人余りの参加者を迎えての開会式では、推進会議会長の一色県教育会理事長の

あいさつの後、愛媛県議会議長代理として文教警察委員長の高山様、大城八幡浜市長様、推進会議の顧問である愛媛県教育委員会の井上教育長様よりご祝辞をいただきました。続いて、「えひめ教育の日」推進宣言、関連写真大賞受賞校表彰、松山青果より寄贈された「愛のあるバナナ」贈呈と続き、推進フェスティバル行事へと移りました。(フェスティバルの様子は、次面に掲載)

フェスティバル終了後、安川雅史氏の「子どもたちを取り巻くネット環境」と題する

講演があり、すべての行事を終えることができました。会場ロビーでの、高校生による展示、物産販売、ロボット演示のコーナーも大盛況で、「教育の日」を通して若い力が育っていることを実感し、心豊かになれた一日でした。



「えひめ教育の日」
推進フェスティバル

まず、松蔭小学校の金管バンド部の演奏から推進フェスティバルが始まりました。続いて、保内中学校・八幡浜高校吹奏楽部が初めての合同演奏を披露してくれました。

また、保内中生徒・和田町唐獅子保存会の皆さんによる「唐獅子」や川上小神楽クラブの「川名津神楽」も披露していただき、八幡浜らしい郷土色豊かなフェスティバルイベントに多くの人が魅せられました。

愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」も駆け付け、「教育の日」に花を添えてくれました。



特別出演の「みきゃん」



「唐獅子」の演舞



松蔭小金管バンド部



八幡浜工業高「ロボット演示」



「川名津神楽」の一場面



保内中・八幡浜高吹奏楽部



川之石高の手作り物産販売



えひめの先生方によって建てられた会館

ご利用の手引き

エスポワール愛媛文教会館

📖 研修会、会議、ご宴会後のご宿泊に 🌊 名湯道後温泉引き湯

😊 ご家族、ご友人と当館を拠点に、道後観光はいかがですか



会議に

各種会議・研修会などに
少人数から500名様まで

ご宿泊に

		タイプ	宿泊料金 (一人)
一般 個人	洋室	シングル	4,500円
		ツイン (2名利用)	4,000円
団体 (20名 以上)	和室 とも	(利用人数により)	3,500円 ~5,500円
		小学生	1,500円
		中学生	2,000円
		引率者 (教職員、保護者)	3,000円

ご宴会に

忘・新年会、
行事打ち上げに

和食、オードブル

3,000円より (飲み放題 2,000円)

○朝食 (和・洋) は600円、夕食は2,000円よりご用意できます。

○教育会会員は全員割引 (1,000円) があります。

○ご予約は 089-945-8644 (松山市祝谷町 1-5-33 愛媛文教会館)

ホームページ <http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>